



Title	excepto si/excepto cuando例外従属節における叙法
Author(s)	出口, 厚実
Citation	Estudios Hispánicos. 2006, 30, p. 1-19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/93871
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

excepto si/excepto cuando 例外従属節における叙法

出口 厚 実

0. はじめに

0.1. 目的

本稿のテーマは、例外的な事柄を表現する従属節に用いられる動詞の叙法を扱った出口 (1999, 2002, 2003) の延長線上にある。拙論 (2003) はその種の従属表現の中で最も代表的な *excepto que* に先導される従属構文について考察し、とくに叙法選択の要因を探った。その機会に類似の例外節と見られる *excepto si* 及び *excepto cuando* を含む従属節に関しても、次のようなごく簡略なコメントを添えた (p. 12) :

接続詞 *cuando* または *si* が *excepto* に後続する従属節の例は頻度数からすれば、*excepto que* とほぼ互角に近いが、いずれでも直説法形が優勢である。特に、後者の *excepto si* は 87 : 3 で圧倒的な差違が際立つ。反事実的例外の仮定を設ける場合のような特殊なケースでしか接続法形が用いられないということから、叙法選択が *si* 条件節と同じ文法的条件に依存することがわかる。確認できた 3 例の時制は過去形である。

< 中略 >

excepto が *cuando* に先行する事例では、*si* に比べてやや接続法の使用比率が高くなるとはいえ、やはり 124/23 で直説法が支配的である。*excepto cuando* の組み合わせにおける叙法の出現も *cuando* 節の一般的振る舞いにより規制されるものと想定されるが、*cuando* の狭義の時間指定機能と条件用法に必ずしも明確な一線を引きがたい領域もあり、なお踏み込んだ詳しい考察が必要と思われる。

上記の記述の土台となったデータは、出口 (1999) の公表段階で利用できた 20 数例に比べれば、大幅に増強された資料集であったが、その後も関連するテーマに関して参照し得るデータ規模を拡大して信頼性をより高めた観察

をすることが可能になった^{注1}。

とくに、excepto si と excepto cuando に焦点を当てるのは、excepto と組む例外表現のうちで、excepto que に次いで頻用されることと、接続詞 si 及び cuando で導入される副詞節が独立して存在してそれらとの関連性が想定されたからである。本稿は新たに追加されたものを含めて、これら2つの例外従属形式の実際の用例を詳しく考察することにより、叙法の分布が excepto si 節と excepto cuando 節（以下まとめて ESC と略記する）でどのように異なるか、またこれらの節と excepto que 節で間に異同があるかどうかを調べたい。このことは同種の従属表現の中で、「例外性」の意味自体が叙法選択において担う役割を理解することにつながるだろうし、間接的ながらスペイン語の叙法機能全般を明確化する一助になると信じる。

0.2. 利用資料

本稿は一定の調査意図でもって設計・管理されたスペイン語資料体から用例データを採取する方法を採らなかった。一般に ESC の出現頻度の絶対値は非常に小さいので、観察できる実際の使用例を最大限に収集する方針を優先するべきと考えた。そのため、前稿での手順と同様に、出典の地域、年代詳別、発表メディア、レジスタ etc. を制限・分類しないで可能な限り多くの ESC 構文の用例を集めて検討を加えた。総データ量はそれほど大量にならないだろうと予想されたことと、仮に地域、文体、その他の社会的変数により何らかの差異の可能性が存在したとしても、その出所を逐一見ながら検討する過程で目に止まるはずであるという理由から、予め資料構成を種別化する必要性はないと判断した。

ただし、原資料がテキストの定量集合体でないために、ESC と excepto que などその他の従属形式や文法単位に対して相対的な比重を計ることができないという欠点が残る。データ集に組み入れたのは新聞、雑誌、公文書、ノンフィクション及び小説・随筆・童話などの創作作品で一般の現代スペイン語と見なし得る一次ソースのテキストが原則である。採取源の媒体は印刷物、その電子化版あるいは電子出版物が主であるが、少量の会話・対話、演説、講義、口語体の音声資料を文章化（デジタル化）したものも含まれる。文法書、研究論文、辞書で引用される作例その他、は含めなかった^{注2}。また、既存の言語研究用データベース、例えば、RAE の CREA・CORDE、SOL、Mark Davies の Corpus dei español などのコンコーダンス出力形式を採る資料体も対

象から外した。もっとも、これらの検索サイトが使用する一次情報源が筆者の利用したものと重なる可能性は排除できないので、ごく一部の参考例文はこれらの Corpus から取り出すことができるかもしれない。

1. excepto cuando/si と法・時制形の頻度分布

本論では約330例の ESC（半主節をも含める）に見られる動詞の法・時制形の出現分布を調べた【表1】、【表2】。両形式ともに相対的な使用頻度はかなり低いため、本報告と同じ程度の総量の使用例が計数される資料体ならば下記の値と相似する比率を出す、と予測されるとは限らない。また、レジスタによる分布偏差が小さくないように思われることも考慮に入れなければならない。出口（2003）で先取りした統計値と比較すれば【表3】、両者間で合計値レベルでの叙法分布の差は小さいことがわかる。

【表1】 excepto si 節の動詞法時制

直 説 法		接 続 法		総 数
現 在	97	過去 ra	3	
線 過 去	7	過去 se	1	
現 在 完 了	4			
合 計	108 (96.4%)	合 計	4 (3.6%)	112(100%)

【表2】 excepto cuando 節の動詞法時制

直 説 法		接 続 法		総 数
現 在	128	現在	35	
線 過 去	23	過去 ra	1	
点 過 去	26	過去 se	1	
現 在 完 了	1	過去完了 ra	1	
合 計	178 (82.4%)	合 計	38 (17.6%)	216(100%)

(出 口)

[表3] 叙法別に見た ESC の使用例

		excepto si	excepto cuando	
出口 2003	直 説 法	87	124	211 (89.0%)
	接 続 法	3	23	26 (11.0%)
ESC 総数				237
本稿	直 説 法	108	178	286 (87.2%)
	接 続 法	4	38	42 (12.8%)
ESC 総数				328

2. excepto si 節

語連鎖 *excepto si* が発見されたすべての事例で *si* は従属節（半従属を含む）を導入し、かつそれは条件的副詞節とみなされた。他の種類の構造断片、たとえば間接疑問文を導く *si* や、「条件提示」でない意味機能を示す *si* を含む *excepto si* 文が存在する可能性は否定できないが、それらは本稿の対象外である。

2.1. excepto si 節の例外性

P *excepto si* Q 型式は条件として仮定される事象 Q が起きる場合を《例外として》、主節 P が常に成立することを示すのによく利用され、文 (1) のように例外節を含めた主文全体が一般化の範囲を限定し明確化する働きをもつ。

(1) La ley deja muy claro que en caso de producirse un daño o un robo del vehículo, no en su interior, el titular del establecimiento deberá responder, por daños y perjuicios, *excepto si* se trata de un accidente fortuito o de fuerza mayor. 「施設の所有者は、偶発的事故または不可抗力による場合を除いて責任を負わねばならないだろう」[PR : 99/11/28]

excepto を用いないで、条件節と帰結節の関係を式化すれば、(P *si* no Q) 「偶発事故でないならば責任を負う必要があり」かつ、そこからの推論として (no P *si* Q) 「偶発事故であれば責任を負う必要がない」ことを意味している。*excepto si* 節内で明示される内容の例外性がきわめて顕著な例、たとえば (2) のように、“すべてのスペイン人女性” マイナス” 女性が Aznar の娘である場合” という極端な減算式 $T - e = R$ ^{注3} で被減数 *e* が極小であるケースから、例外的というほどでなくても、特殊、異例、非正規なケースを指定するまで、*R* の大きさは連続的で、明瞭な境界線でタイプ分けされるとは言い難い。実際、

この形式は (3) - (6) に見られるように、一般化される事実とその適用外を対比するのに役立つというのが公約数であろう。

(2) En la rueda de reconocimiento de que todas las españolas son iguales ante la ley *excepto si* son hijas de Aznar, hubiera quedado precioso el habitual chiste contra los novios en uniforme de maestrante, cuando dicen que van vestidos de domador del circo de Angel Cristo.「Aznar の娘である場合を除いて」[MN : 02/09/06]

(3) La comunicación telefónica tampoco ha quedado plenamente restablecida, son líneas directas, pero que parecen de rejillas solares, porque sirven apenas cuatro horas del día, *-excepto si* empieza a llover- y por la noche no hay manera de avisar sobre una nueva contingencia.「雨が降り出せば別だが日中の 4 時間しか役立たない」[EX : 98/10/01]

(4) : la táctica inmediata es no escuchar nada de nadie, *excepto si* pronuncia la contraseña.「即効的な対策はパスワードを言わないと誰からも何も聞かないという点である」[PR : 98/08/04]

(5) No son así tratados los asesinados por ETA, *excepto si* son víctimas indiscriminadas, por la explosión de una bomba en un supermercado.「無差別テロの犠牲者である場合を除いて、ETA による殺人はそのようには扱われない」[PA : 00/07/15]

主節は否定文であることも可能である [(4) (5) (6)]。文 (6) は、肯定主文の条件文 *se puede ilegalizar un partido por la ideología si atenta claramente (...)* 「明らかに人権に反すれば政党を非合法化できる」と類似するが、両者の違いは、前者で *no se puede idealizar* 「非合法化できない」が主張の骨子であるのに対して、*excepto* を外して帰結節を肯定文に変えれば、真理値的に等価であっても、「非合法化を可能とする」見解が前面に押し出される解釈が生まれるだろう。

(6) En tercer lugar, no se puede ilegalizar un partido por la ideología, *excepto si* atenta claramente contra los Derechos Humanos.「明らかに人権に反する場合を除き、イデオロギーを理由に政党を非合法化することはできない」[VG:02/05/18]

また、従属する *excepto si* 節の内部に否定を含むこともある。次文 (7) では *excepto si* と *si no...* 節が並列されていて 2 つの否定命題の論理積を条件として主節内容が該当する。この時、「～でない／～しない場合を除いて」を意味するが、この文を *si no ...* で代替することは出来ず、*P excepto si no Q* はむしろ、*P si Q* に相当するだろう。

(7) CCOO descarta una huelga general excepto si no hay acuerdo en pensiones.

「労働者委員会 (CCOO) は年金に関して合意に達しない場合を除いてゼネストを否定している」 [MN : 01/03/15]

上例で見てきたように、除外される条件の内容は実現するかもしれないか予想不能だったり、可能性が小さいケースが多い。ただし、例文 (8) で見られる「チャイルドシートで車の前席を占める」ことや (9) のように、十分現実性のある事態を指定することもある。このような si 例外文は *excepto cuando* 節を含む例外文と同等と見なされる。

(8) Aun así, en España, el reglamento de seguridad vial prohíbe expresamente que los menores de 12 años viajen delante, *excepto si* van en sillas de seguridad. [PR : 99/12/19]

(9) El Gobierno francés decidió dejar de exportar ganado 'sensible' a la fiebre aftosa -ovino, bovino, caprino, porcino- y ordenó el bloqueo del ganado de todas esas especies en los lugares donde se encuentran, *excepto si* se trata de moverlos para trasladarlos a los mataderos (con un control veterinario reforzado). 「畜殺場へ移送する場合を除いて(...)全種類の家畜の封鎖を命じた」[PA : 01/03/06]

例外条件を複数提示するために、文 (10) のように si 節が接続詞 o により選言的に結合されることもある。

(10) : los turistas creen que los aguaceros son una maldición ; los nativos se van acercando a esa opinión, *excepto si* aún plantan repollos o si tienen responsabilidades municipales. 「今もキャベツを植えているか、あるいは地方行政の責任者である場合を除いて土地の人々はその意見に近づいている」[GA : 05/03/16]

2.2. *excepto si* 節の時制

上掲の諸例文 (1) - (8) (10) は主従節とも、その動詞がすべて現在時制²⁴であったが、実際、例外節/帰結主節のいずれか、あるいは両者が過去時制の文は非常に少数しか記録されなかった。

(11) Entonces, no se les permitía crear una empresa con participación mayoritaria extranjera *excepto si* se dedicaban a la exportación. 「輸出に従事する場合を除いて外国の出資が過半以上の企業の設立は認可されていなかった」[MN : 02/09/08]

主従節で時制が一致しないこともある。主節で「現在」、従節で「線過去」、「現在完了」のケース (12) (13) やその反対に主節が「点過去」、従節に「現在」を含むことも可能である【文 (14)】。

(12) No se entiende, *excepto si* de lo que se trataba era precisamente de cortarse la retirada, haciendo irreversible la opción tomada.「選んだ選択肢を撤回不能にしてきっぱりと自らの退路を断つのでなかったならば理解してもらえない」[PA: 00/01/27]

(13) Los delitos comunes deben ser enjuiciados y resueltos por los tribunales ordinarios, *excepto si* los autores han sido militares activos.「犯人が現役軍人であった場合を除いて尋常裁判所によって判決が出されなければならない」[UN: 99/03/03]

(14) La sexualidad se hizo pecaminosa *excepto si* se practica según las intrusivas normas establecidas por la Iglesia.「教会が定めたうるさい基準に従って行われる場合を除いて罪深いものとなった」[EX: 99/01/02]

次の2文は、条件節が直説法現在形を、帰結節が直説法未来形を含む。これらは、発話時からみて未来の事態についての仮定とその結果を表現する *si* 条件文の法・時制パターンに則っている。

(15) El resto de los encuentros costará 995 pesetas, *excepto si* el comprador es de la misma provincia que alguno de los dos clubs en liza, en cuyo caso son 1.195 pesetas.「購入者が対戦する2クラブのいずれかと同県の出身者である場合を除いて」[PR: 99/01/30]

(16) "El año pasado derrotamos a ejércitos extranjeros que no se atreverán a volver a atacar, *excepto si* traen una invitación firmada por los enemigos internos con el pretexto de que sería la única forma de salvar nuestras vidas, cuando en realidad sería la mejor forma de perderlas", manifestó Milosevic, aludiendo a la oposición.「内通者の署名入りの招待状をもってやってくるのでなければ彼らが再び我々を攻撃することはない」[NA: 00/10/01]

いずれにせよ、本項の諸例文に観察された *excepto si* 構文での時制形の分布は、通常の *si* 条件文に本来起こり得るものであるから、*excepto* が何らかの影響を及ぼした結果とは考えられないだろう。

2.3. *excepto si* 節の叙法

[表1] から分かるように、*excepto si* 節には直説法形が圧倒的に多く使用されている。本論の資料ベースにしようと集めた例文集の中では96%以上を占めている。もう1つの大きな特色はこの種の従属節内では推定法^{註5}が用いられず、*excepto* に先行されない一般的な *si* 条件節と同じ制約が働くことが確

かめられる点である。従属節の事態が未実現で将来に予想される事柄であったとしても、いわゆる未来系の動詞^{注6}を用いることは出来ない。

次例は主節動詞が接続法現在形で、未来のある時期に「反対票を投ずる」ことが要求されていて、そのための例外条件もまた発話時の時間帯に限定されるのではなく、現在時より後にも解放されている。しかし、従動詞は直説法現在形でなければならない。

(17) Las juventudes de Convergència piden que se vote en contra de la investidura de Aznar *excepto si* el PP cambia de política hacia Cataluña. 「国民党が対カタルーニャ政策を変更する場合を除き、アスナールの就任に反対票を投じるよう要求している」 [MD : 96/03/31]

例外節 *excepto si* に接続法の利用が確認されるのは、例外の設定が仮想的反事実の場合で、接続法過去 *ra* 形、*se* 形が現れるときである。そのときの主動詞としては直説法過去未来形【文(18)の *podría*】が用いられることが多い。

(18) Gebrselassie ya no tiene que demostrar nada y podría haberse quedado en casa, *excepto si* no creyese en la victoria. 「勝利を信じていない場合を除いて、家に留まっていたてもよかった」 [UN : 01/08/08]

次文の主節は「イラクを攻撃してフセイン大統領を失脚させる米国の計画と異なる」と直説法で述べているが、例外条件部「イラクが核兵器と生物兵器を貯蔵することが<証明される>場合を除いて」を接続法過去形で表している。現実には<証明されていない>事態に対する仮定であるからである。

(19) Británicos, franceses, alemanes e italianos condenan, sin embargo, el unilateralismo estadounidense, la imposición de aranceles sobre el acero y discrepan con los planes de EE UU para atacar Irak y derrocar a su presidente, Saddam Husein, *excepto si* se probara que Irak alberga armamento nuclear y biológico, en tal caso, los europeos estarían a favor de intervenir. [PA : 02/04/19]

「不服の申し立てがなされる場合を除いて」を示す(19)の *prótasis* は、法律の規定なので起こり得ないことを想定しているわけでないが、希な、特異な事態と想定されていると解釈できる。

(20) Por tanto, el problema volvería a plantearse a la salida de dicho centro, *excepto si* se interpusiera recurso por vía civil para proseguir el internamiento, el cual, en todo caso, sería revisable. 「民法上の手続きで不服の申し立てがなされる場合を除き」 [PA : 98/10/14]

(21) Aparentemente, sin motivo alguno, *excepto si* no fuera porque el niño está

anclado a una silla de ruedas a causa de su enfermedad. 「車椅子に固定されていたという理由がなければ、それ以外に何の理由もなしに(バスから下車させられた)」[AB : 04/05/24]

上文の条件は反事実の仮定であるために接続法過去形を取り、sin motivo alguno 「何ら理由なしに」も非事実で、理由があったからだと主張している。

以上の例文から確認されたのは excepto si 節は直説法・接続法の両方の動詞形を取り得ること、後者の叙法(接続法過去形)は仮想的反事実の条件が例外として提示されるケースに使用されるという点である。

3. excepto cuando 節

前置詞に先行されない単純な cuando 節と同様に、excepto cuando 節も主文内で状況補語として機能する。quando で導かれる従属節が関係副詞節とある種の接点を有するのに似て、例外表現との共起においても同様な境界領域が見られる。excepto の直後に、関係副詞の先行詞を介在させる明白な関係詞構文、p. ej. (22), (23) を本稿では対象にしない。もっとも excepto と cuando が直結される語連鎖のみを扱うという意味ではなく、数は少ないが、文(24)のように前置詞 excepto と cuando の間に副詞その他(ただし非先行詞)が挿入されるものは ESC に含めて扱う。

(22) Su economía creció entre 5% y 7% anual en los últimos años (excepto 1998, cuando la expansión fue de 4,8%). 「成長が4.8%だった1998年を除き」 [UN : 99/07/03]

(23) «Tienen reservas de harina, pasta, arroz, pero se están acabando», añadía este palentino (sic) que todos los días mantiene contacto con sus hermanos, excepto ayer, cuando a las 14 horas se cortaron las comunicaciones con el santo lugar. 「聖地との通信が14時に途切れた昨日を除いて」 [MN : 02/04/06]

(24) "Pero me siento insegura con todo, *excepto*, quizá, *cundo* interpreto", asegura. 「自分が演奏しているときを多分除いて」 [PA : 99/08/26]

3. 1. excepto cuando + 直説法

接続詞 cuando は主従節が表す事象の生起が時間的に一致する(部分的または全体的に)ことを示して両者を結合するのが基本機能であるところから、主節で有効化される時間の全体性から除外される”時間”を表すような文が excepto cuando 文の典型的なタイプであろう。(25) (26) のように、主節、従

属節ともに直説法現在形として、一般的概括とそれに対する例外の関係が習慣的なあるいは超時間的な事実として述べられる用例が多く観察される。

(25) Mi hijo viene conmigo, *excepto* cuando estoy en algún lugar muy peligroso.
「非常に危険な場所にいる時を除き息子が私と一緒に来る」[NA : 03/08/24]

(26) Nunca llueve en Los Ángeles, *excepto* cuando diluvia.「ロスでは雨が降れば必ず大雨になる」[PS : 02/03/17]

主従節の動詞の法時制形関係から見れば、(27) と (28) は同等で、それぞれに点過去形／線過去形が使用されている。包括的に点過去で表示された時間延長から、線過去で表された継続または反復の期間が差し引かれる。

(27) Los voluntarios usaron este dispositivo todo el día, *excepto* cuando dormían.
「応募者は眠っているとき以外は一日中ずっとこの装置を使用した」[UN : 01/03/30]

(28) Fue él quien advirtió el enorme potencial de Lesley, con la que mantuvo también una relación sentimental durante unos años, aunque nunca vivieron bajo el mismo techo *excepto* cuando viajaban juntos.「一緒に旅行する時を除けば決して同じ屋根の下に暮らしたことはなかった」[RM]

被減数の時間は明示されないことも多く、その場合は"常に"、"いつも"が既定となる【cf. (30). (31)】。

(29) Allí estuvo a oscuras los 46 días de su cautiverio, *excepto* cuando los terroristas le permitían leer un periódico, eso sí, censurado.「テロリストが彼に新聞を読むのを許可したときを除いて46日の監禁期間中その暗がりにはいた」[MD : 96/12/02]

(30) -Tu partenaire, *excepto* cuando bailaste con Eleonora, fue Miriam Coelho, del Teatro Colón. ¿Cómo se llevaron? [NA : 00/09/20]

(31) El secretario general del PP le lanzó una batería de preguntas sobre diversas materias para conocer la actuación al respecto del futuro gobierno, pero Zapatero no dio respuestas concretas *excepto* cuando anunció que derogará el trasvase del Ebro. [MN : 04/04/16]

文 (30) (31) は点過去形による一般化を一部無効にする例外性が、点過去で示される例であるが、次文のように主節の一般化が現在完了形で、例外が点過去形で表されることもある。

(32) La maestra Martha, de 72 años, relata que desde hace medio siglo empezó a dar clases aquí, en "Miguel Hidalgo", y que nunca ha faltado, aunque tenga gripa, ex-

cepto cuando murieron su esposo y sus padres.「夫とその両親が死んだとき以外は風邪を引いていても休んだことがなかった」[UM : 03/05/15]

”～が死んだとき”はその正確な発生（継続）時間のあいだでなく、その事態に含まれる実際的な生活場面の時間延長、例えばその1日など、位置としての時期等（= *el día en que*）を指示するであろう。

(33) El país era pobre pero no mísero, *excepto cuando* había año de sequía.「干ばつの年になったときを除いて」[MN : 01/10/15]

(34) Cada domingo llegaba con ideas nuevas ; ella se reservaba el papel principal (*excepto cuando* había que desnudarse, porque prefería que lo hicieran otras), y distribuía los roles secundarios.[DH]

文 (33) (34) は過去についての一般化で、主従節ともに線過去である。不定回数繰り返された例外付きで主節に表された習慣的事実が存在したことを示すが、前出の文 (32) と同様、推論された拡大時間概念に含まれるだろう。「“脱がなければならない”配役を決める場合を除いて主役を独り占めしていた」の意と解釈できる。

quando 例外節の出現語順に注目すると、主節に対する後置が大半を占める (86.6%)。主節より前に置かれる事例は少数で、216例中、13例しか発見されない。独立文の外観を呈するが、意味上のつながりでは先行の文に従属する分離型後置の方がむしろ多い (16例)。この点では出口 (2003 : 10) で見られた *excepto que* の主文内での主節との相対位置と似た傾向を示していると言える。

全般的に見れば、主節の動詞形式と *excepto cuando* 節のそれとの共起関係は、直説法形の出現する前述の諸環境では、*excepto* を伴わない通常の *quando* 節と変わりがないように見受けられる。

3.2. *excepto cuando* 節＋接続法

前出の各例では経験された過去の事実または習慣的現在に関して、例外発生の“時”が表明されていた。一方、例文 (35) ～ (37) の例外節には接続法形動詞が現れ、主節は直説法未来形である。後者のケースでは、*quando* 内部で仮定的な未然事態を想定して、その場合の当為を主動詞で表現する法的な加色が明確に認められる。

(35) Las sesiones serán públicas, *excepto cuando* se acuerde lo contrario.「非公開と合意した場合を除き公開される」[AB : 04/05/28]

(36) Nadie le pondrá impedimento alguno para circular, *excepto cuando* llegue a zonas restringidas al tráfico, que dependerán de las poblaciones por las que circule. 「交通規制地区にまで来る場合を除いて、誰も何ら通行を妨げることはないだろう」 [PR : 99/04/26]

(37) Art. 44. Ninguna disposición legislativa tendrá efecto retroactivo, *excepto cuando* imponga menor pena. 「より軽微な刑が科せられる場合を除き」 [VZ]

“義務をもつ” tener la obligación, “ねばならない” deber を主文述語とする (38) (39) の動詞時制は「現在」であるが、その未発・未然性含意により、*quando* 節の事態もまたその影響下に入る結果、接続法を取ると見なせる。

(38) El portavoz de Jueces para la Democracia añadió que la Comisión de Secretos Oficiales, por lo tanto, tiene la obligación de guardar el secreto, *excepto cuando* se encuentre algún comportamiento que pudiera ser constitutivo de delito. 「犯罪を構成するおそれのあるような行動が見られる場合を除いて秘密を守る義務をもつ」 [MD : 95/10/13]

(39) A principios de los 40 Isaac Asimov y John W. Campbell Jr. promulgaron las leyes de la robótica : un robot no puede hacer daño a un ser humano ; siempre debe obedecer a los humanos, *excepto cuando* signifique quebrantar la primera ley, y, un robot debe proteger su propia existencia hasta entrar en conflicto con la primera y la segunda leyes. 「(ロボットは) 第 1 の法則を破ることを意味する場合を除いて常に人間に服従しなければならない」 [MG]

文 (40) (41) のように直截な禁止表現に従属する例外副詞節でも接続法形が出現する。

(40) Por lo demás el aborto sigue prohibido *excepto cuando* corra peligro la vida de la mujer, una enmienda a la Constitución de la República de Irlanda sigue estableciendo la igualdad de derechos de la madre y el feto, y siete mil irlandesas van a continuar viajando todos los años a Inglaterra para poner fin a sus embarazos. 「女性の生命が危険に曝される場合を除いて中絶は禁止され続けている」 [VG : 02/03/08]

(41) Desde el viernes y hasta el 27 de marzo, el Ministerio de Agricultura, Pesca y Alimentación (MAPA) ha prohibido el transporte de aquellas especies que sean sensibles a la fiebre aftosa, *excepto cuando* salgan de la explotación con destino al matadero para su sacrificio inmediato y hacia otras explotaciones. 「即時処分用に畜殺場へまたは他の畜産施設へ送られる場合を除いて、口蹄病に罹る得る種類の輸送を禁止した」 [MN : 01/03/11]

禁止でなくとも推奨に相当する態度モードと関連づけられた「時の従属文」でも接続法形の例が記録された：

(42) Numerosos Gobiernos, empezando por el ruso, desaconsejan viajar a Chechenia *excepto cuando* sea estrictamente imprescindible y tomando todo género de precauciones.「多くの政府がどうしても避けられない場合を除いてチェチェンへの旅行を思いとどまらせている」[PA : 98/12/09]

(43) ; y entre los 14 y 16, el propio menor lo podrá decidir, siempre y cuando el facultativo considere que tiene la madurez suficiente, y la intervención sea de menor entidad, *excepto cuando* la operación sea grave, para lo que será necesario siempre el consentimiento de los padres ; 「手術が重大なものである場合を除き、未成年者本人がそれを決定できるだろう」[AB : 03/04/20]

文 (43) の主節の直説法未来形は時間的後起性でなく、断定緩和もしくは規定的命令の機能で使用されたものだろう。ここでは非減数の *siempre y cuando* 節も減数の *excepto cuando* 節もともに接続法現在形を含む。

(44) Habría también que explicarle las maravillas de la filiación adoptiva y dejarle decidir, *excepto cuando* hubiese una vida en juego.「命がかかっている場合を除いて、また養子縁組のすばらしさを説明し、彼女に選択をゆだねなければならないだろう」[VG : 02/03/08]

接続法過去形の用例はごくわずかで、上文では断定緩和的に使用された過去未来形に対応して例外節の動詞が *hubiese* となっている。

3.3. *excepto cuando* 節での叙法対立

最後に、同一動詞語彙で表現される例外節の側から見た 2, 3 の例を引いて叙法を対比してみる。まず、” *tratarse de* + 不定詞” が *excepto cuando* 節内の述語となるケースが文 (45) と (46) である。また、後続の文 (47) (48) は従属節に”*tratarse de* + 名詞”を共通に含んでいるが、その動詞の叙法が異なる。

(45) Pujol explicó que por norma, no voy a una manifestación desde 1980, *excepto cuando* se trata de rechazar el terrorismo.「テロの廃絶という問題である場合を除いて1980年以来デモに参加していない」[AB : 03/02/13]

(46) El hecho es que Cataluña rechaza las mezquitas. Y no debería ser así, *excepto cuando* se trate de aplicar la legislación vigente.「現行の法律を適用しようとする場合を除いて、そのようにあるべきではないだろう」[MN : 02/05/27]

(47) *Excepto cuando* se trata de deportes, los jóvenes hablan más con la madre

que con el padre.「スポーツを話題にするときを除き、若者は父親より母親とよく話す」[PR : 00/04/13]

(48) Se acogió a un artículo, el 124, que permite este privilegio *excepto cuando* se trate de crímenes contra la humanidad o genocidio.「人類全体に対する犯罪または大量殺戮である場合を除いてこの特権を認めている」[VG : 02/09/01]

どちらの対照においても、総称的な直説法現在で表された主節の一般化に対する例外を示すところで、直説法形が用いられ、一方、義務・許可など法的述語のもとにある例外時が接続法形動詞を含んでいることがわかる。同様に、同じ語彙 *existir* を例外節動詞とする 2 文、(49) と (50) を比べてみると、直説法形の *existe* が出現する (50) では「補助金が存在する場合を除いてコストを割って販売できない」という条件依存の一般的関係が述べている。それに対し、(49) の従属節での接続法形 *exista* は主文内の必要性表現によって惹起されたものと考えられる。

(49) Cabe recordar que en estos delitos es necesaria la denuncia correspondiente, *excepto cuando* exista violencia física, pero de ninguna manera los responsables gozarán de libertad bajo caución.「物理的暴力が存在する場合を除き、これらの犯罪には所定の告発が必要である」[UM : 04/01/02]

(50) En nuestro sistema económico las empresas no pueden vender por debajo del costo *excepto cuando* existe una subvención que al final terminarían pagando todos los contribuyentes.「助成金が存在するケースを除いて企業は原価以下で売ることはできない」[EP : 95/09/20]

手持ちのデータ中の例文から得られた考察を要約すれば、主に非過去時において、原則として実現されなければならない行為を免除されるべき、例外的な事態を条件内容として示すときに *excepto cuando* 内部の動詞叙法が接続法となる。それ以外は、過去・非過去時を問わずこの例外節に直説法動詞形が用いられる。

4. 時間解釈と条件解釈

4.1. si 条件文と cuando 時間副詞節

例外性に支配されない通常の従属節として現れる *si* 条件節と *cundo* 時間節に関して、両者が近接・重合するような使用領域が存在するように思われる。いくつかの例文を一瞥し、これらの節を例外事例として提示する ESC を比較する際の参考にする。

(51) *Saldré de paseo cuando deje de llover.*「雨が止んだら散歩に出かけよう」
主文の命題 P はある時間の実現されると推定され、その実現時間が“雨の降り止むとき”（ある不特定の時）であると主張される。従属節の事象 Q の生起する確率は高いであろうが、ただその時が特定されず、また気象現象のゆえに確実に起こると断定もされていない。

(52) *Empezaremos a cenar cuando lleguen los invitados.*「招待客が着いたら夕食を食べ始めよう」(Castro 1999 : p.85)

この場合、招待客が到着するのは確実に見なされていて、その時刻もあらかじめ決められているかもしれない。また P の「食べ始める」事態はほぼ100パーセント起きると予想されるほど確実性は高いゆえ、Q の生起そのものに条件依存性が欠けることも明らかである。招待客が来ると仮定して、その到着のあり方を問題にしているのであれば、P と Q の時間差が生じてもよく、それを si 節で条件として提示できるが【Cf (53)】、主節と cuando 節の間では“同時性”または少なくとも時間の部分的共有が必須である。

(53) *Empezaremos a cenar a las ocho, si llegan todos los invitados antes de las siete.*

非過去時に言及するこのような典型的な例では、従属節の述語が”達成 (Achievement)” のタイプの動作態様（語彙的アスペクト）に分類されるものが多く、また接続法現在完了 (*haya llegado*, etc.) に代替し得るタイプの接続法現在も珍しくないが、本項では、両者の内部時間の重なり、剥離などアスペクトに絡む相互関係の詳細を分析することはしない。excepto に先行される cuando 節では非時的な使用が主となるためである。

主従文の同時性が明瞭であれば、両種の構文が利用される環境は接近している。文 (54) で、出会いと伝言の間に大きな時間差が生じるとは考えられないためである。

(54) *Si ves a Cristina, dale recuerdos de mi parte.* (Castro 1999 : p.145)

(55) *Cuando veas a Pepita, dale recuerdos de mi parte.* (Castro 1999 : p.86)

quando 節の意味は「～が真になるような事態があると予想され、その時（不明な時間でもよい）において」と考えられるが、後半の「その時」が拡張解釈されてばやければ、あるいは消失すれば「そのような事態において」と等しくなる。

(56) *Cuando apruebes todas las asignaturas te compraré la moto.*「全科目に合格したときにバイクを買ってあげよう」= *Si apruebas todas las asignaturas te com-*

praré la moto.「もし全科目に合格したらバイクを買ってあげよう」(Castro 1999: p.85)

このように cuando で導入される節がある種の条件的意味機能を帯びることは従来から指摘されており、cuando の非時機能と分類されることもある。

一方、(57) a. 文が奇妙なのは、その prótasis において、起こり得ることも得ないこともある蓋然性をもつ事態ではなく、「夜が明ける」という確定的な事象を条件にしているのが主因である。さらに「起床」行為の有無について言えば、ほぼこれも日課的なルーチンであり、その成否が何かに条件づけられるという因果関係が想像しにくいからであろう。b. 文では日の出の時間と起床の時間の一致性を主張するので、両者が共に確実に生起すると前提される出来事であってもよい。

(57) a. #Mañana nos levantaremos si amanece.「我々は明日夜が明ければ起きる」

b. Mañana nos levantaremos al amanecer / cuando amanezca.

「我々は明日夜明けに起きる」

4.2. ESC における時間と条件解釈

「時の副詞節」全般に見られる特徴として、主節の事象が未来時間に言及し、従って cuando 節で指示される時間もまた未来時であるとき、その従属節の動詞が接続法形を取る。考察の対象になった例外文の資料の中には、このような透明な、中立的「未到時間」に言及する直説法未来形主節と連動する“excepto cuando + 接続法動詞形”はまれであった。恐らくその理由は、excepto に先行されたために生じた統語的特異性というよりは、この表現自体を含むテキストが格式のある文章語スタイルであるのと同様と思われる。実際、上掲の各例は規定、条文、官庁公文書等の中に見出され、主文が位置する時間枠は発話時から見た単純な後時性ではない^{注7}。

cuando で先導される従属部が意味的に時間（時間軸上の位置）を表す副詞補語の働きを示すか、非時間的な、とりわけ si と同様な条件提示の機能をもつかの区別については、各個別文のコンテキストから判断する必要がある。従って、非時ニュアンスが優勢な解釈を受けるとしても、必ずしも明確な線引きをしにくい部分が存在することを認めなければならない。事態の生起が予想されていて、かつその発生時間あるいは有効時間が重要であるという意味合いが薄れれば、excepto cuando 節でも条件的解釈に傾斜する。

ある特定の位置的時間（絶対時点）を指定しようとするとき、様々な定・

不定の副詞的時間表現を用いることが可能であり、それを避けて「文」で表示される状況や出来事を参照するのは、そのこと自体が時間性の希薄化の現れと考えられる。とくに主文述語で意図・指令などが表現されればなおさらである。

規制の意味を持つ主節に対して、si 節ではなく、むしろ cuando 節で例外事態が表現されやすいのは、たとえ例外とはいえ、その事態が当然生じ得るものとして予想されているためと考えられる。一方、§2で見たように、si 節は予想されにくい蓋然的な事態や、非現実性を除外条件として提示する傾向がある。

5. 結論

excepto si 節と excepto cuando 節は、ともに前置詞 excepto と副詞的従属文を導く標識で構成されるという外形上の共通点をもつが、それらの節内の動詞叙法分布を決定づける要因は異なる。ただし、それぞれ「例外性」を伴わない si 条件節、quando 時間節に見られる叙法・時制の選択基準が例外節にストレートに反映されたと見なす仮説には矛盾しない。双方を含む構文での叙法出現に関して見られる差異の源は si と cuando にあり、ESC においては「例外」意味成分は接続法・直説法を分けるキー要素でないと推定される。

ESC と excepto que との間にどのような関連性があるだろうか。共通するのは、excepto の語彙的意味内容が不変に維持される点と、これが例外従属節の叙法を決定する要因でないという点である。他方で、excepto que 節が「仮定・条件」を表すか、対外部の構造位置で上部から叙法を規定されるときに、それに従って接続法動詞形が、それ以外では直説法が用いられるという構造的二重性（名詞節／副詞節の差）²⁸が excepto que 形式に対して指摘されたが、この区分は ESC に存在しない。また後者では前者で認定したような「仮定・条件」意味が接続法形を誘起する現象は見られなかった。

さらに、一見、否定的内容を秘めるように見える「除外、排除、免除」の意味を添える excepto が、後続する si, cuando 従属節と組み合わせて用いられても、それらの動詞叙法に影響を与えないという点も注記されるべきかもしれない。前置詞＋従属マーカという相似した構成でありながら、sin que, para que などにおける前置詞 sin, para が叙法に関して顕著な固有特徴の引き金になるのと対照的である。

さらに、重ねて確認されたのは、確かに接続法を含み得るケースはあるが、

(出 口)

その出現比率は直説法形にくらべてはるかに低頻度で、例外節を大まかにせよ接続法性と関連づけることは不適切であるという、例外節全般に関する一般化である。
(2006.01.12)

注

- 1) 出口 (1999) では *excepto si*, *excepto cuando* 節、それぞれ13の合計26例文であった。今回の集計では、それらを含めて328例【Cf. [表1]、[表2]】にのぼる。
- 2) *si* 条件文と *cundo* 時間副詞節を論じた §4.1. で引用する例文を除く。
- 3) 出口 (2002) 参照。
- 4) 動詞法時制形が含む時制カテゴリーに言及するさい、理解の便宜を考えて伝統的な用語「現在」、「未来」を使用するが、正確には「非過去」であり、拙稿 (1986a, b) で主張されたような2つの時制カテゴリー、i. e. 「非過去」「過去」が区別されるものと仮定する。
- 5) 叙法カテゴリーとして直説法・推定法・接続法の3法を仮定する論拠については出口 (1986a, b) を参照。
- 6) 直説法未来形、未来完了形、過去未来形、過去未来完了形。
- 7) *excepto cuando* 節の述語動詞が接続法現在形するとき (全部で35例)、その主節の動詞形態が何であることを調べてみると次の通りである：
直説法未来 18
直説法現在 13
直説法過去未来 3
直説法現在完了 1
- 8) 出口 (2003) p. 8-9 を参照。

引用電子化データ

AB: ABC Periódico Electrónico S. L. U, Madrid.

DH: Jorge Edwards, "Los domingos en el hospicio" -Cuentos para el verano/Revista "Qué pasa". Chile, 2001.

EP: El Panamá América, Editora Panamá América EPASA.

EX: Excelsior Edición Internet, Excelsior Cía. Editorial, México.

GA: La Voz de Galicia, La Voz de Galicia S.A., A Coruña.

MD: El Mundo CD-ROM / Segundo Semestre 1995, Primer y Segundo Semestre

1996, Mundired.

MG:Revista Magazine, núm 14. 02 de enero de 2000, Mundinteractivos, S. A.

MN:El Mundo. es Mundinteractivos, S. A.

NA: La Nación Line, Bs As., Argentina.

PA: El País Digital. Diario El País, S. A., Madrid.

PR: El Periódico de Catalunya. Ediciones Primera Plana S.A. Grupo Z, Barcelona.

RM:La Revista de El Mundo, Número 206, suplemento de EL Mundo del Siglo XXI,
Diario El Mundo., Madrid.

VG: La Vanguardia Digital, La Vanguardia Ediciones S. L., Barcelona.

VZ: CONSTITUCIÓN POLÍTICA DE LA REPÚBLICA DE VENEZUELA(16 de
Enero 1961), Título III, Capítulo I, Art.44.

UM:El Universal Online, México.

UN: El Universal Digital, Caracas.

☆ 例文の出典略号に後続する [: 数字] は参照ページ数を、[: yy/mm/dd] は
定期刊行物などの発行年月日を表す。

☆ ほとんどの引用例文に日本語訳文を添えたが、全訳ではなく、従属節（の
1部）または主従節の要所のみに止めた個所が多い。

参考文献

Castro, Francisca : Uso de la gramática española. Edelsa, Madrid. 2a. reimpresión
1999.

Deguchi, Atsumi(1986a) Un nuevo modo 'presuntivo' en sustitución de los tiempos
futuro y condicional — Lingüística Hispánica 9, pp. 19-34.

出口厚実(1986b) スペイン語に未来はあるか？ 同格化された法・時制概念を
めざして— Estudios Hispánicos 12, pp.1-16.

— (1999) : 「例外性」の表現と叙法.<口頭発表>—関西スペイン語研究会
(於京都産業大学)1999年1月30日

— (2002) 例外節と主文の意味関係について.— Estudios Hispánicos 27, pp.
1-14.

— (2003) 「例外性」の表現と叙法-excepto que を中心に.-大阪外国語大
学論集 29,pp.1-15.